



Collaborative Education for Next-Generation INnovators & Exploration of knowledge Intersections

C-ENGINEは産と学の交流をとおしてイノベーションを創出できる人材育成をめざす 大学と企業のコンソーシアムです

累計500件以上の実績 研究インターンシップなら C-ENGINE

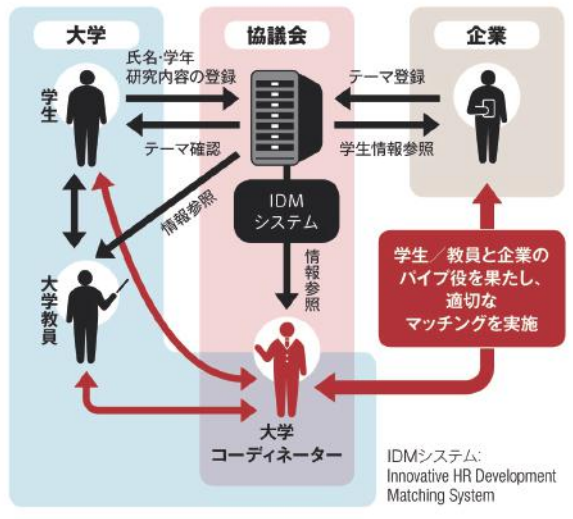
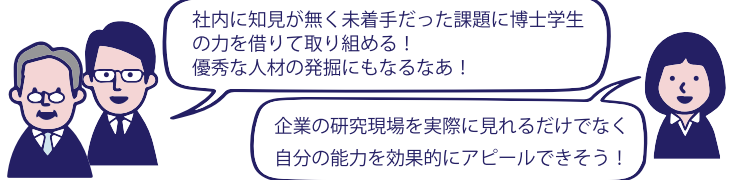
「ジョブ型も！」

C-ENGINEのインターンシップの特徴

- 特徴1 大学×企業**
日本を牽引する企業と大学が組織として参画し
質の高いインターンシップを提供
- 特徴2 中長期の研究インターンシップ**
腰を落着けた企業の研究現場の体験を可能にする
中長期のインターンシップを数多く提案
- 特徴3 柔軟なサポート**
オンラインシステムと大学コーディネーターの両面から
迅速かつ細やかにサポート

目的に応じた最適なインターンシップが実施可能

ジョブ型とミッション・オリエンテッド型 C-ENGINEなら目的に合わせて選択できる！



J型(ジョブ型) OR **M型(ミッション・オリエンテッド型)**

企業が指定する職務(ジョブ)に
高度な専門性を発揮!
博士

企業が解決したい課題(ミッション)に
汎用性をもって挑戦!
修士・博士 ポスドク

期間	2か月以上	協議のうえ決定
待遇	有給	企業の判断
単位認定	単位認定あり	大学・部局による
採用選考	活用可	企業の判断
インターン 実施内容	ジョブディスクリプション提示のうえ、 インターンの目標・内容を設定	企業が解決したい課題と 学生の能力に合わせて設定

※ジョブ型研究インターンシップは、博士課程学生が専門的な知識や高度な能力を評価され、研究開発の加速とイノベーション創出を担う人材として活躍できる場を拡大するため文部科学省が推進する先行的・試行的取組です。

協議会会員 (2021年7月現在 17大学・31企業)

協議会趣旨にご賛同いただける企業・大学のご参画をお待ちしております



C-ENGINE 一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会 (C-ENGINE)
〒606-8302 京都市左京区吉田牛ノ宮町4 日本イタリア会館305
TEL 075-746-6872 E-mail contact@c-engine.org



2021年7月1日発行

産と学による人材育成と
知の創出に期待



一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会
代表理事 平島 崇男
(京都大学理事・副学長)

不確実で予測不能な劇的な社会変化に対応できるよう、大学は研究と教育の両面で使命を果たす義務があります。特に研究型の大学においては、博士人材の育成は最重要課題です。これからの博士人材の属性は、基礎学力と専門性に優れているだけでは不十分で、個人の幸福だけでなく、コミュニティや地球全体の社会幸福の充実を考えて行動するための知識、スキル、価値観を持つことが必要と考えられています。

大学院生を対象にしたグローバル企業等における研究インターンシップは、このような属性の獲得に貢献するものです。更に、大学院生が社会との関係性をより密接なものとする有力な手段であり、更に、産業界との知の交流の機会でもあります。

研究インターンシップは、学生が様々な気づきを得て、大学に戻ってからの研究を一層充実したものにするための絶好の機会です。教員の皆さまには、大学院教育の一環として、また、企業の皆さまには、人材育成という観点で、本協議会の研究インターンシップに対する積極的なご支援をご理解をお願いいたします。

経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進室

産学協働イノベーション人材育成協議会は、短期のインターンシップとは異なり、学生が企業において実際の研究業務に携わることで、一人前の研究者としてのスキルを習得する中長期の研究インターンシップを推進してまいりました。この取組が新規事業に発展する例もあり、産業界からの期待もますます高まっているところです。

経済産業省と文部科学省は、理工系人材を戦略的に育成するため、平成28年に「理工系人材育成に関する産学官行動計画」をとりまとめており、研究インターンシップの普及は、本行動計画の重要施策の一つでもあります。経済産業省としても、現在、有識者会議等において、イノベーション人材の産業界での活躍について議論を進めているところであり、研究インターンシップの有効性についても、産業界及び教育機関への更なる普及に努めてまいる所存です。関係の皆様のご積極的なご参画とご理解をよろしくお願いいたします。

文部科学省 高等教育局 専門教育課

コロナ禍により生じた様々な情勢の変化は、急速な変化へ適応する能力の重要性を我々に再認識させました。社会を牽引する若者が、変化に柔軟に対応し、持続可能な社会を切り開いていくためには、新たな課題を見出し探求する「研究力」に加え、コミュニケーションを取りながら生み出した知を社会的価値につなげる「実践力」が必要となります。これからのリーダーを育てる大学院教育はますます高度に変化しなければなりません。その鍵は、産学が協働して新しい研究や教育を実践していくことにあると考えています。研究インターンシップはまさにその形を体現しているものです。

文部科学省では、中長期、有給、採用選考活動に反映可能な「ジョブ型研究インターンシップ」の先行的・試行的取組の検討を進めています。C-ENGINEと連携させていただき、研究インターンシップがより学生、大学、企業にとって価値があるものとなり、拡大するよう皆様とともに取り組んでいきます。

インターンシップの質を高める取組み

大学コーディネーター会議

大学コーディネーターが定期的集まり、問題共有や具体的な解決策の検討、実行を通して、ノウハウの共有を図ることを目的に開催しています。学生指導や指導教官とのやりとりのポイント、企業担当者との折衝方法、インターンシップ中の学生サポートなどコーディネーターにまつわる内容を議論しています。コーディネーターの活動を面に変える重要な会議です。



<2019.2.22 大阪大学>

大学/企業合同会議



<2019.5.15 東京大学>

大学・企業の担当者が一堂に会し、現状の課題を共有し、解決策を大学と企業が協力して考えることで、マッチングの促進と質の保証という2つの目標の実現を試みています。過去の事例分析や企業テーマの精査と理解、送り出し/受け入れ指針の策定など、産と学が顔を合わせベクトルを合わせる会議です。

大学理事意見交換会

会員大学理事にお集まりをいただき、大学理事意見交換会を開催しています。2019年度の大学理事意見交換会では、会員大学から担当理事8名の方を含む15名が参加をし、教育プログラムとしてのインターンシップの意義、各大学の抱える課題とその対策、今後の展望などについて意見交換をおこないました。大学が組織として参画している点に、<C-ENGINE>の強みがあります。

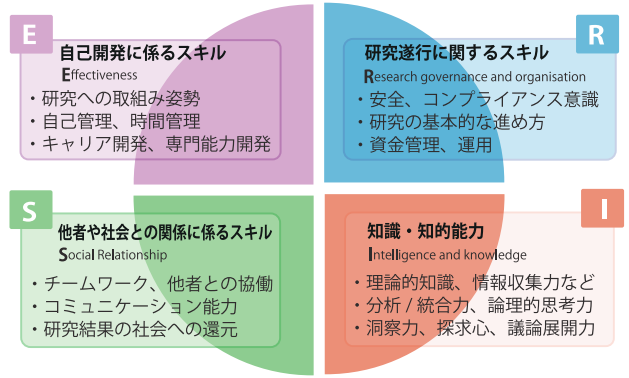


<2019.11.14 東京大学>

C-ENGINEでは、学生が博士課程修了までに身につけるべきスキルとして
トランスファラブルスキルRISEを提唱しています

研究インターンシップに参加することで、目標達成のための計画策定、時間管理、研究管理の方法やしぐみを知ることができます。また、さまざまな分野の高度な知識をもつ人々との協働、新たな世界、知識との遭遇などは、視野を拡げ、自身に必要なトランスファラブルスキルを意識することができます。

<トランスファラブルスキルRISE>



RISEの各項目とその内容は VitaeのResearcher Development Frameworkを参考に作成しました。

※2020年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、各種会合はオンラインにて実施しました

運営体制 (2021年7月現在)

一般社団法人
産学協働イノベーション
人材育成協議会

● 組織概要

名称 一般社団法人産学協働イノベーション人材育成協議会
設立 2014年1月20日
住所 京都市左京区吉田牛ノ宮町4 日本イタリア会館305
活動 イノベーションを創出する力を有する高度理工系人材の輩出をめざす多対多の大学と企業の連携活動

(2021年7月現在・敬称略)

理事

- 代表理事 平島 崇男 (京都大学 理事・副学長)
- 理事 (大学) 齋藤 延人 (東京大学 理事・副学長)
- 理事 (大学) 水本 哲弥 (東京工業大学 理事・副学長)
- 理事 (大学) 久枝 良雄 (九州大学 理事・副学長)
- 理事 (企業) 小林 正博 (ダイキン工業 専任役員)
- 理事 (企業) 吉川 正人 (東レ 理事)
- 理事 (企業) 田宮 直彦 (日立金属 執行役常務)
- 理事 (企業) 古藤 悟 (三菱電機 開発本部 技術統轄)

監事

- 監事 (大学) 田中 敏宏 (大阪大学 理事・副学長)
- 監事 (企業) 豊嶋 哲也 (日本ゼオン 常務執行役員)

事務局

- 事業責任者 藤森 義弘
- 事業・資金管理
- 協議会運営サポート

オブザーバー・アドバイザー

経産省、文科省、産総研
各種経済団体、有識者など
(必要に応じて招聘)